コミュニティ・スクールは地域とともにある学校をつくる取り組みです！

コミュニティ・スクールだより

群馬県立館林特別支援学校・館林高等特別支援学校

令和８年10月発行

♥ 令和8年度第2回学校運営協議会 「拡大熟議」を開催しました ♥

今回は、２校の職員が熟議に参加し、子どもたちにとってよりよい教育活動等について話し合いました。先生方の子どもたちへの思いあふれる意見に対し、学校運営協議会の委員やオブザーバー参加した皆さんからも自分たちができることを積極的に協議しました。

熟議のテーマ

卒業後も地域社会の一員として
輝き続ける子どもたちのために

①教育活動の具体化と学校間の連携

②学校・家庭・地域が一体となった「切れ目ない支援」の構築

熟議



避難訓練



地域交流

熟議





子どもたちのために
地域と協働

2校の絆を深める「交流・体験プログラム」

将来の自立を見据えた「一貫したキャリア支援」



清掃作業の見学
体験交流

共同製作
よごれとーる





高等特別支援学校の見学

合同進路研修



＊裏面には、熟議における教職員の皆さんや学校運営協議会委員の皆さんの「今後の教育活動等への思い」を掲載しました。

卒業後も地域社会の一員として輝き続ける子どもたちのために！

教育活動の具体化と学校間の連携



「よごれとーる」共同制作
作業工程の分担や見学・体験を通じ、生徒に合った作業を見つけていきたい。

音楽の交流
共通の課題曲設定、音階の色の統一、使用アプリ等の情報交換により、両校間での学びの連続性を確保していきたい。



館林特別支援学校と館林高等特別支援学校の交流
教員や児童生徒の負担感を軽減するため既存イベントを活用し、宇宙祭の交流強化、学習発表会の見学、宇宙カフェでの交流、清掃合同授業、昼休みの体育館・校庭の合同利用、さつまいも交流などを行いたい。



清掃（ビルメンテナンス）
清掃の手順・マニュアル（ほうきの持ち方、机の拭き順等）や検定シートを共有し、高等部の清掃作業の見学・体験交流を行うことで、将来のQOL（生活の質）向上や自立につながる指導を積み重ねていきたい。

学校・家庭・地域が一体となった「切れ目ない支援」の構築



ボッチャを通じた地域・学校間交流事業
ボッチャ教室を地域の力も借りながら実施したい。来年度は、交流会（5月）、メインイベントのボッチャ大会（10月または2月）の実施を通じ、地域住民との交流を行ったり中学部と高等特支の生徒の交流を行ったりしたい。この活動が児童生徒の将来の余暇につながるとよい。



互いの学校の情報共有・ICT活用
児童生徒・教員が使用するソフトやアプリ（Zoom、Classroom、Form、Gemini等）の情報共有、直接交流前の事前オンライン交流、企業・事業所と連携したWebページの工夫を推進していきたい。



将来の自立や就労、生活を見通した指導・支援
小・中・高を通じた一貫性のある指導体制や、将来の自立を見据えた支援案を考えていきたい。

高等特や高等部への進学に向けた支援
キャリア教育講演会の実施、専門アドバイザーによる小中学校訪問、進路関係者同士の連携強化を進めていきたい。

防災：合同避難訓練等
地域・家庭・学校が連携して各種訓練を行い、防災意識を高めていきたい。